



# 対流

Heart to Heart  
2023.1

2023年1月20日発行

特定非営利活動法人  
有機農業認証協会  
〒564-0063  
大阪府吹田市江坂町  
1丁目23-19  
TEL\*06-6330-0823  
FAX\*06-6330-0735  
MAIL:yuukinin@apricot.ocn.ne.jp  
HP: <http://yuukinin.org/>



つくる人、はこぶ人、たべる人。 人と自然のあらたなかかわりば  
農山漁村に住む人、都市に住む人。 顔の見える交流(Face to Face)から  
自分の居場所や立場を越えて人と人。 心が響きあう対流(Heart to Heart)へ。

## ■CONTENTS

1.巻頭言 2.事業・活動報告 3.お知らせ

## 1.巻頭言 ～「Transforming Our World」～

2023年が幕を開けました。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は有機JAS認証業務の遂行にご協力を賜り、誠に有難うございました。

今年は2015年に第70回国連総会で採択された文書「Transforming our World: The 2030 Agenda for Sustainable Development (わたしたちの世界の変革：持続可能な開発にむけた2030年計画)」で世界共通の目標として掲げられたSDGs達成の目標年度である2030年への折り返しの年です。あと8年で17の目標と169のターゲットは達成できるのでしょうか。

皮肉にも新型コロナウイルスの感染拡大やロシアによるウクライナ侵攻は、SDGsの目標の「3すべての人に健康と福祉を」と「16平和と公正をすべての人に」の達成を阻んでいます。

しかし、事業者のみなさまが係わっておられるオーガニック食品の生産・流通・消費の促進は「12つくる責任つかう責任」、「13気候変動に具体的な対策を」、



理事長 中塚華奈

「14海の豊かさを守ろう」、「15陸の豊かさも守ろう」の目標と親和性が非常に高いものです。

エネルギー価格の上昇をはじめ、様々なもののコストアップに直面している厳しい現実ではありますが、2050年を最終目標年度とする「みどりの食料システム戦略」では、我が国の有機農業の取組面積を100万ヘクタールに拡大することを受けて、多種多様な政策の推進強化や技術革新といった変革に力が注がれるようです。

有機農業認証協会もスタッフ一同、公正なる検査認証を通して、オーガニックの普及拡大に貢献できるよう精進して参ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



12. つくる責任 つかう責任  
持続可能な消費と生産のパターンを確保する



13. 気候変動に具体的な対策を  
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



14. 海の豊かさを守ろう  
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



15. 陸の豊かさも守ろう  
陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



## 2. 事業・活動報告



### ★事務局認証業務①

\*判定委員会  
(11/28、12/23)

新規調査2件（加工食品の生産行程管理者1件、有機農産物の小分け事業者1件）、年次調査32件（有機農産物の生産行程管理者13件、有機加工食品の生産行程管理者12件、小分け業者3件、輸入業者3件、有機料理1件）の他に追加ほ場が1件でした。

### ★事務局認証業務②

\*理事会(11/30)

2022年度第4回の理事会がオンラインにて開催されました。事務局より定期的な会計・業務報告の後に、総会の日時や内容・開催方法、業務規程の改正、役員留任についての話し合いがありました。



### ■有機JAS講習会



- 個別講習会（当協会事務所）  
11/11（農産物の生産行程管理者：2名）
- 個別講習会(オンライン)  
12/1(農産物の生産行程管理者：1名)  
12/16(加工食品の生産行程管理者：2名)  
2023/1/12(加工食品の生産行程管理者：4名)
- 合同講習会（オンライン）  
11/16（農産：8名、加工：3名、小分け：10名）  
2023/1/18(外国格付表示事業者：7名)  
2023/1/19(外国格付表示事業者：6名)
- 出張講習会  
12/13(加工食品の生産行程管理者：17名)  
12/15(加工食品の生産行程管理者：11名)

### 新規事業者紹介



 有機農産物 生産行程管理者

#### \*横濱ワイナリー株式会社

神奈川県横浜市内で有機ブドウを栽培する有機農産物の生産行程管理者です。

2016年に、国産ブドウによるワイン醸造を開始、2020年よりブドウ栽培をスタートされました。



HP:日本ワイン横濱ワイナリー |  
日本で一番小さなワイナリーの通販サイト  
(<https://yokohamawinery.com/>)

 有機農産物 小分け業者

#### \*株式会社三協運輸サービス

埼玉県越谷市にある有機農産物の小分け業者です。

HP:株式会社三協運輸サービス |  
大いなる御用聴きカンパニー  
(<https://www.sankyounyu.co.jp/>)

### ■有機JAS講習会は引き続き、原則オンラインでの実施とします

新型コロナウイルスへの感染リスクを避けるため、一つの部屋に講師と受講者が集まる「対面型」の講習会は引き続き当面の間実施せず、オンライン講習といたします。

パソコンやインターネット環境がなく、オンライン講習を物理的に受けられない場合は個別に対応いたしますのでご相談ください。



### ～事務局業務について～

事務局業務につきましては引き続き平日の午前10時から午後4時までとさせていただきます。お電話でのお問い合わせ等は、この時間内をお願いいたします。



### 3. 認証業務の範囲を拡大しました

昨年のJAS法改正を受けて、当協会は12月1日付で認証業務規程を改定し、認証業務の範囲を拡大しました。具体的には、①有機藻類を認証の対象に追加②有機加工食品の品目に「有機酒類」を追加③認証事業者の種別に「外国格付表示業者」を追加、の3点です。またこれらの業務規程の改定に合わせて認証料金も改訂しています。改訂料金表はこの記事の最後(4ページ目)に掲載しています。

#### ①有機藻類

有機JASの5番目の農林物資として2021年12月に有機藻類のJASが施行されました。ここでいう「藻類」とは海水、汽水、淡水で養殖・採取されるもの、陸上の施設で養殖されるものでコンブやワカメやひじきなどの海草だけでなく、クロレラやミドリムシといったプランクトンも含まれます。

認証するのは生産行程管理者と小分け業者です。申請の手順等は農産物や加工食品と変わりませんが、担当者の資格要件として有機藻類についての講習会を受講し修了している必要がありますので、講習会については個別に対応させていただきます。



#### ②有機加工食品に有機酒類を追加

これまでは国税庁が管轄していたという理由で有機JASマークが表示できなかった有機酒類が農林物資となり、格付の表示ができるようになりました。

このことを受けて今後は有機酒類を製造する生産行程管理者および小分け業者の認証も行います。国税庁が管轄していた「有機加工酒類」の製造基準には、現状の有機加工食品の別表にはない添加物（酸化防止剤等）がありますが、今年4月に再度規格が改正され、有機酒類にのみ使用できる添加物の別表が追加される予定です。有機酒類とは言ってもあくまでも有機加工食品の1品目ということですので、申請の手順、料金等は従来の加工食品と同様です。



#### ③外国格付表示業者の認証

輸出促進法に合わせて改正されたJAS法の中で、これまでは規制の対象ではなかった、ユーロリーフ等を表示して海外へ輸出する事業者について、新たに「外国格付表示業者」の認証の取得が義務付けられました。

具体的にはアメリカ、カナダ、EU加盟国のロゴマークが対象です。これまでに、外国格付の表示をして輸出してきた実績のある事業者については認証の取得は今年9月末までという猶予期間が設けられており、それまでは認証を取得していなくても、これまで通りの輸出が可能となります。

そして、この猶予期間の間に年次調査のタイミングに合わせての同時調査ができます。すでに認証を取得している事業者がこの外国格付表示業者の認証の申請をするためには指定の講習会を受講し修了した「外国格付表示担当者」を配置すること、外国格付表示規程を整備すること（これは既存の格付規程に加筆する形でもよい）があり、つい先日(1/18、19)もオンラインでの講習会を実施したところです。

また、外国格付の表示を付しての輸出実績がない事業者は、認証を取得してからでないと、輸出できませんので、輸出の予定のある事業者の皆様は早めに事務局までお知らせください。



#### ★EU加盟国・アメリカ・カナダへの輸出を計画されている事業者の皆様へ スタートしています！『外国格付表示事業者』の認証について

関係事業者様には何度かお知らせしておりますが、2022年10月1日施行の改正JAS法により同等国へ外国格付の表示を付して輸出する事業者は、新たに認証の取得が必要となりました。

今後、ユーロリーフ等を付して有機JAS品の輸出を計画されている事業者様は、事務局へお知らせください。

すでに認証を取得されていても、新たに講習会の受講、申請書の作成、実地検査等が必要です。認証取得までの手順等を再度説明させていただきますので、ご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。



## 別表2：認証手数料及び年次調査手数料表

申請者の種別	基本料金
有機農産物の生産行程管理者（個人）	55,000円+消費税
有機農産物の生産行程管理者（団体・法人）	95,000円+消費税
有機加工食品（有機酒類を含む）の生産行程管理者	95,000円+消費税
有機藻類の生産行程管理者（個人）	55,000円+消費税
有機藻類の生産行程管理者（団体・法人）	95,000円+消費税
小分け業者及び輸入業者	120,000円+消費税
外国格付表示業者	120,000円+消費税
※生産行程管理者等の新規・継続の調査と同時に行う場合	30,000円+消費税
有機料理を提供する飲食店等の管理方法についての取扱業者	120,000円+消費税

## 第24回会員総会のご案内

新型コロナウイルスの蔓延から4年目に入り、『With コロナ』という言葉も少しは聞きなれたものの、まだまだ感染は収まりません。総会についても2020年は委任状・書面評決状のみ、2021年・2022年はオンラインでの開催でした。この間に多くの事業者様より、『年1回でも、情報交換の機会が減ってしまい残念。オンラインだけではやはり物足りない。』、『目まぐるしい状況の変化の中で、直接事業者が顔を合わせる機会が今こそ必要ではないか!』、『日本各地の認証事業者の状況が知りたい!』、『困りごとを直接会って相談したい!』、『是非対面での開催を再開してほしい!』等とお声掛けいただいていた。そこで感染対策も考慮したうえで、今年是对面・オンラインのハイブリットによる総会を開催します。

終了後は別会場にて、懇親会（講師の伊藤室長も参加予定）も開催しますので、皆様の参加を心待ちにしています。奮ってご参加下さい。

会員総会の詳細につきましては、別途ご案内させていただきます。

## 講演会講師紹介

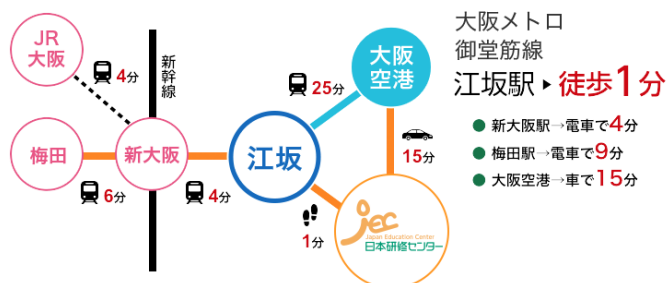
### 記念講演は農林水産省・基準認証室室長が来阪

記念講演は、農林水産省新事業・食品産業部食品製造課基準認証室長の伊藤里香子様より、『有機JASの動向』についてお話をいただきます。

農水省は「みどりの食料システム戦略」の中で、2050年に日本の農地の4分の1を有機ほ場にしようという大きな目標を立てており、その意気込みをお聞きたいと思います。

講師プロフィール：平成18年農林水産省入省。地理的表示保護制度の運用開始（第一号登録など）に携わるほか、水産庁において水産金融や漁協制度、林野庁において林野予算などを担当。平成28年から3年間山形県庁に出向し、農林水産施策の計画立案や農林業に係る専門職大学の設置検討に従事。令和4年6月から現職。

## JEC日本研修センター 江坂へのアクセス



日時：2023年3月20日（月）14時30分～17時

会場：JEC日本研修センター江坂（SRビル江坂）

（大阪メトロ御堂筋線江坂駅1番出口より徒歩1分）

### プログラム

\* 総会：14時30分～16時

\* 記念講演：16時～17時

\* 懇親会：17時～（別会場にて）

